

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性					当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小(廃止)	その他	現状 (病院回答から転記(抜粋))		
								今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))		
1	郡上市民病院	公立	がん	○				・診療実績あり(肺・呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器) ・化学療法実施 ・大学病院及び県総合医療センターへ紹介。	・今後も大学病院及び県総合医療センターと連携する。 ・がん連携パス使用している。	
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				・心カテについて一部対応可 ・急性期3次病院へ搬送。	・今後も同様の対応予定。	
			脳卒中	○				・TPA、開頭血腫除去術等の診療実績あり。 ・その他は3次病院へ搬送。	・今後も実施。	
			救急医療	○				・当院は郡上市での二次救急の役割を担っている。 ・緊急の場合ドクターヘリも活用。	・今後も実施。	
			小児医療	○				・一部対応可 ・対応不可の部分については、3次病院へ搬送。	・今後も同様の対応予定。	
			周産期医療	○				・当院は郡上市内における唯一の出産施設であり、年間250件程度の分娩実績あり。 ・ハイリスク分娩への対応は大学病院へ依頼。	・今後も通常分娩への対応を継続する予定。ハイリスク分娩への対応は引き続き、大学病院と連携する。	
2	美濃市立美濃病院	公立	がん	○				・診療実績あり(乳腺・消化器) ・地域の高齢化の中で、早期発見・早期治療を含めた医療を提供 ・侵襲的又は専門的治療は専門施設を紹介 ・その他、在宅介護支援を含めた回復期以降の機能の提供	・今後も同様の対応予定。 ・特に、急性期治療が終了した患者を積極的に受入れ回復期医療と在宅医療介護を支援。	
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				・適応症例は速やかに地域の専門施設に紹介 ・急性期治療が終了した患者を積極的に受入れ回復期医療と在宅医療介護を支援する	・今後も同様の対応予定。	
			脳卒中	○				・適応症例は速やかに地域の専門施設に紹介 ・急性期治療が終了した患者を積極的に受入れ回復期医療と在宅医療介護を支援する	・今後も同様の対応予定。	
			救急医療	○				・地域での二次救急の役割を担っているが、専門的対応が困難な症例は地域の病院と連携・紹介し地域救急体制の安定供給に貢献している	・今後も同様の対応予定。 ・現状の救急体制維持するための役割を担い続ける。 ・特に、地域の高齢化に対処すべく、高齢者救急の受け入れ体制を重点的に整備。	
			小児医療	○				適応症例は速やかに地域の専門施設に紹介	・今後も同様の対応予定。	
			周産期医療					提供体制なし	提供体制なし	

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))	
3	国保白鳥病院	公立	がん					・他院へ紹介	・今後も同様の対応予定。	
			心筋梗塞等の 心血管疾患					・他院へ紹介	・今後も同様の対応予定。	
			脳卒中					・他院へ紹介	・今後も同様の対応予定。	
			救急医療	○				・救急については、年間約2,500人(内、救急搬送140人)の患者がある。(R1年度実績)	・当院がかかりつけの患者が大半を占めることから当面の間は現状を維持し、連携については今後検討をしていく。	
			小児医療					・他院へ紹介	・今後も同様の対応予定。	
			周産期医療					・他院へ紹介	・今後も同様の対応予定。	
4	中濃厚生病院	公的	がん	○				・がん診療拠点病院の指定を受けており、がん診療(肺・呼吸器、乳腺、消化器、泌尿器、放射線療法)の中核的な役割を担っている。 ・専門医が在籍し専門的治療を行っており、近隣医療機関からの紹介も多く現状を維持する必要がある。	・今後も実施	
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				・循環器内科専門医が在籍し、専門的診療を行っている。 ・外科手術が必要な心疾患は岐阜大学医学部附属病院へ紹介。	・今後も実施 ・今後も岐阜大学医学部附属病院と連携する。	
			脳卒中	○				・脳神経外科専門医が在籍し、専門的診療を行っている。 ・近隣医療機関からの紹介も多く現状を維持する必要がある。	・今後も実施	
			救急医療	○				・三次救急病院として中濃消防、郡上消防、可茂消防からの受入要請に積極的に対応している。 ・大腿骨骨折等の対応は整形外科専門医が在籍し、専門的診療を行っており、近隣の医療機関からの紹介も多く現状を維持する必要がある。	・今後も実施	
			小児医療	○				・小児科専門医が在籍し、専門的診療を行っている。 ・新生児集中治療室管理料等に該当する患者は、岐阜県総合医療センターへ紹介。	・今後も実施 ・今後も岐阜県総合医療センターと連携する。	
			周産期医療	○				・産婦人科専門医が在籍し、専門的診療を行っている。 ・近隣の医療機関からの紹介も多く現状を維持する必要がある。 ・岐阜大学医学部附属病院等との協力により、24時間分娩が可能な体制を構築している	・今後も実施	

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性					
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))
5	木沢記念病院	公的	がん	○				・診療実績あり	・今後も実施。
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				・診療実績あり	・今後も実施。
			脳卒中	○				・診療実績あり	・今後も実施。
			救急医療	○				・診療実績あり	・今後も実施。
			小児医療	○				・診療実績あり	・今後も実施。
			周産期医療	○				・当院は美濃加茂市内における出産施設であり、年間250件程度の分娩実績あり。 ・ハイリスク分娩への対応は可能。	・今後も実施。
6	可児とうのう病院	公的	がん	○				・肺・呼吸器、乳がん、放射線療法 県立多治見病院・木沢記念病院等へ紹介 ・消化器及び泌尿器：対応可	現状の継続
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				・急性心筋梗塞に対するカテーテル手術は、予約制が対応可 ・外科手術が必要な心疾患は、県内・県外対応できる病院へ紹介	・現状の継続
			脳卒中			○		・対応不可、県立多治見病院・木沢記念病院等へ紹介	
			救急医療	○				・二次救急	・現状の継続
			小児医療			○		・対応不可、県立多治見病院・木沢記念病院等へ紹介	
			周産期医療			○		・対応不可、県立多治見病院・木沢記念病院等へ紹介	